

IV 研修及び相談・情報提供

感染症情報センターでは、研修及び相談・情報提供業務を情報センターの情報収集、発信機能の一つとして位置付けている。本項目の報告については、年度単位での実績を報告する。

1 研修への講師派遣、研修の受講、受け入れ

令和3年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受け、令和元年度まで開催されていたような対面での集合研修は開催中止やweb開催に変更になったものが多かった。また、例年開催していた県内保健所職員を対象とした当センターの主催研修は、保健所における新型コロナウイルス感染症業務の逼迫等の理由により開催を見送った。令和3年度の当センターからの研修講師実績を表IV-1-1、当センター職員の研修会受講状況を表IV-1-2、当センターで研修を受け入れた実績を表IV-1-3に示した。研修会受講者は、研修内容等を随時他の職員に伝達し、職員相互での情報・知識・技術の共有及び向上に努めた。

表IV-1-1 令和3年度埼玉県感染症情報センター研修講師実績

No.	研修の名称	主催者	対象者	実施日
1	令和3年度感染症新任者研修会(Web)	保健医療政策課 感染症対策課	県保健所の感染症担当新任職員 県内市町村の併任職員	R3.5.14
2	第22期救急救命士養成訓練	埼玉県消防学校	救急救命士養成課程受講者	R3.11.15
3	令和3年度中堅養護教諭資質向上研修 ・感染症の基礎再確認 ・感染症発生時の対応	県総合教育センター	養護教員10年経験者	R3.11.17
4	風疹実験室検査法の実施研修会	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)医療研究開発推進事業費補助金「麻疹風疹排除のためのサーベイランスに関する研究」班	地方衛生研究所の感染症検査担当者	R3.11.25 -26
5	令和3年度埼玉県感染症リスクマネジメント研修会	感染症対策課	県内保健所職員(政令市及び中核市を含む)、県保健衛生主管課職員	R4.3.16

表 IV -1-2 令和 3 年度埼玉県感染症情報センター研修受講状況

No.	研修の名称	主催者	目的・内容等	期間	受講人数
1	令和3年度疫学統計研修	国立保健医療科学院	データ解析のための統計学及び疫学の応用的知識と技術を理解し、データを解析し、行政報告書等にまとめる技能の習得	2日	1
2	第80回日本公衆衛生学会	日本公衆衛生学会	公衆衛生の向上、増進に寄与する科学的エビデンスの習得及び公衆衛生活動の実施状況の把握	3日	4
3	次世代シーケンサー技術研修会	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター 黒田氏、関塚氏、糸川氏	新型コロナウイルスゲノム解析技術の習得	3日	1
4	感染症担当者研修	保健医療政策課	新任感染症担当者研修に業務内容用、関係法令、方法等を研修する	1日	2
5	第1回病原体の取扱いに関する研修会	病原体取扱い赴任者	バイオセーフティとバイオリスクマネジメント、所内の病原体安全管理体制について研修する	2時間	2
6	第2回病原体の取扱いに関する研修会	病原体取扱い赴任者	安全キャビネットと遠心機の使用方法を研修する	2時間	2
7	ナノポアシーケンサーによるコロナゲノム解析研修会	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター 黒田氏、糸川氏	新型コロナウイルスゲノム解析技術の習得	3日	3
8	第5回コロナゲノム解析研修会	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター 黒田氏	新型コロナウイルスに関する最新の知見の習得	3日	3
9	第6回コロナゲノム解析研修会	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター 黒田氏	新型コロナウイルスに関する最新の知見の習得	1日	5
10	精度管理研修会(YouTube)	精度管理担当	新型コロナウイルス感染症に対する感染研の取り組み	1日	5
11	第7回コロナゲノム解析研修会	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター 黒田氏	新型コロナウイルスに関する最新の知見の習得	1日	4
12	令和3年度希少感染症研修会(web)	国立感染症研究所	希少感染症の診断、疫学に関する最新の知見(AFP、新型コロナ等)	1日	5
13	令和3年度薬剤耐性菌の検査に関する研修(Web)	国立感染症研究所	薬剤耐性菌検査の基礎的知識及び検査技術の習得	2日	2
14	令和3年度結核対策推進会議 (web)	結核研究所	結核に関する最新知識の習得と情報交換	2日	3
15	令和3年度第一回「病原体の取り扱いに係る研修会」	衛生研究所	バイオセーフティ研修伝達講義、感染症法の概要と病原体等検査業務管理要領について感染症法の規定に従った特定病原体等の適切な取扱い方法の習得及び確認	4時間	29
16	令和3年度第二回「病原体の取り扱いに係る研修会」	衛生研究所	安全キャビネット等実験機器を安全に正しく使用するための知識の習得	2時間	13
17	令和3年度第三回「病原体の取り扱いに係る研修会:災害時病原体取り扱い訓練」	衛生研究所	災害時病原体取り扱い訓練	1時間	17
18	検査能力向上講習会	国立感染症研究所	検査機関に対する検査能力・精度管理等の向上を目的とした研修	2日	1

表 IV -1-3 令和 3 年度埼玉県感染症情報センター研修受け入れ実績

No.	来所者	目的・内容	対応	実施日
1	川越市、越谷市、川口市保健所のウイルス検査を実施する職員	次世代シーケンサーによるゲノム解析研修	中核市HCで新型コロナウイルスのゲノム解析が実施できるよう、知識、方法を習得してもらう	R3.12.7～9

2 相談件数の推移、相談者の属性、内容、方法

感染症疫学情報担当では、平成 14 年 4 月に感染症疫学情報担当が発足して以来、情報の収集・解析及び還元情報の効果を評価するために、担当に寄せられた問い合わせ内容を、相談データとして Microsoft Access 上に構築したデータベースに蓄積し、相談の傾向を把握している。

年度ごとの相談件数は、感染症情報センターが県庁から移管された平成 16 年度に大きく増加し、最多となった平成 19 年度まで増加が続いたが、その後は減少傾向にある。令和 3 年度の相談件数は 41 件で、前年度の 46 件を下回った(図 IV -2-1)。また、月別の相談件数を図 IV -2-2 に示した。

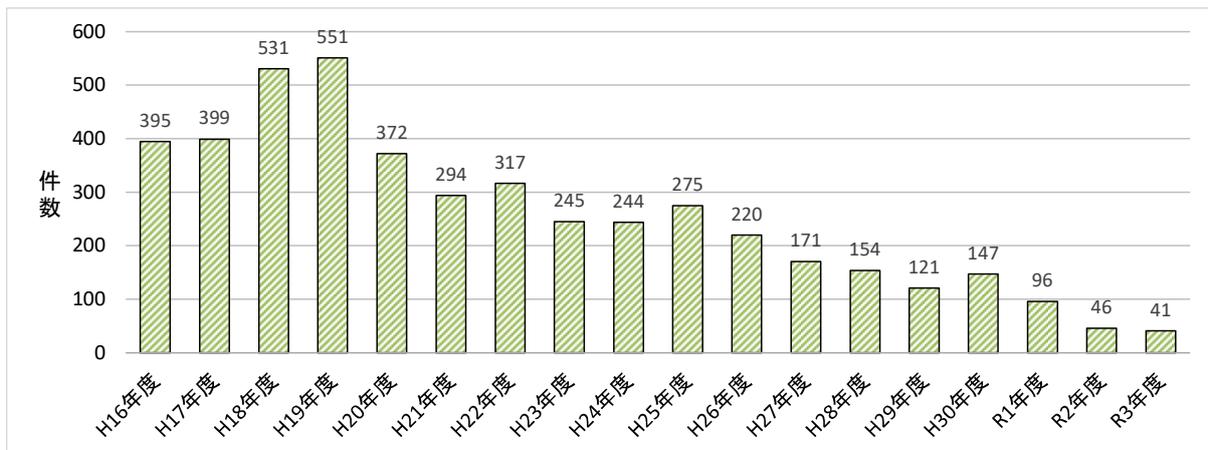


図 IV -2-1 年度別相談件数

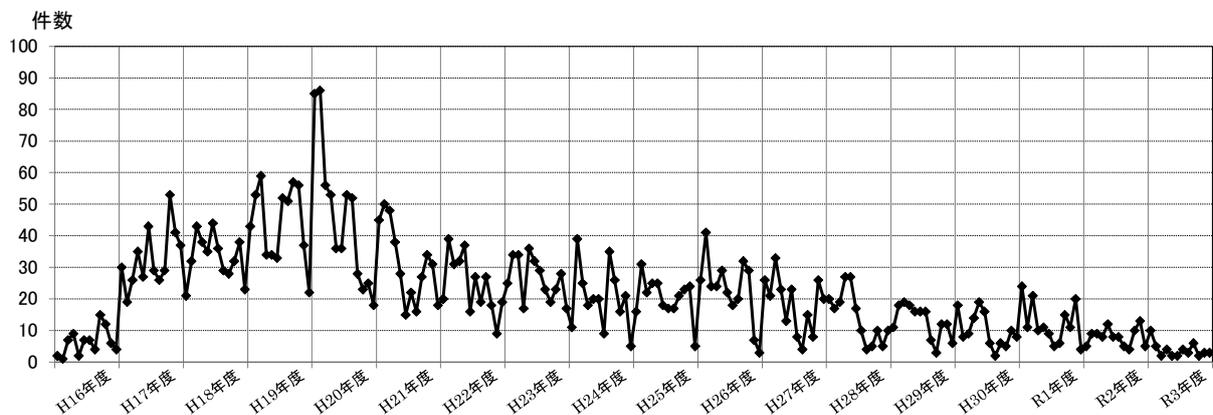
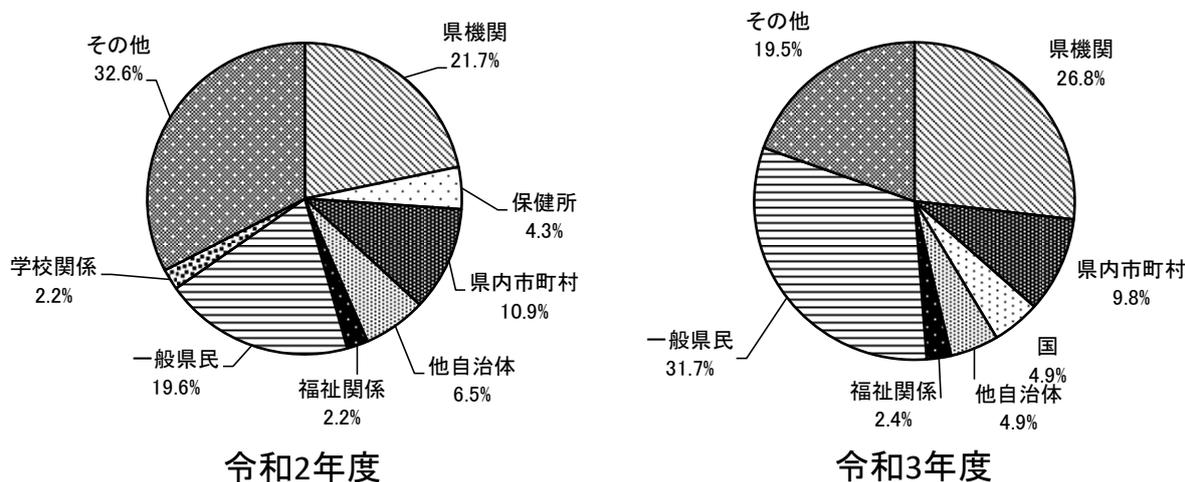


図 IV -2-2 月別相談件数の推移

相談者の属性を件数及び割合で見ると、一般県民、保健所を除く県機関の順が多かった(表IV-2-1、図IV-2-3)。最多であった一般県民からの相談は13件(31.7%)であり、前年度の9件(19.6%)より上回った。なお、主な相談者属性の内訳は、県機関(11件・26.8%)は県各部・各課の職員、他自治体(2件・4.9%)は他自治体の保健・衛生等にかかわる職員であった。また、その他(8件・19.5%)の属性は、報道関係機関、医療関係者等であった。

表IV-2-1 相談者別・相談内容別 相談受理事件数

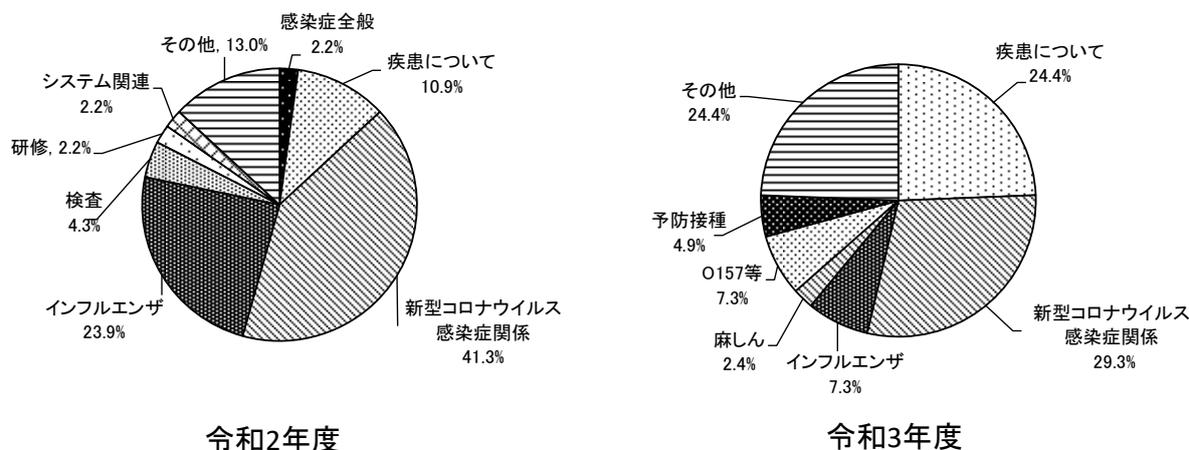
	疾患について	新型コロナウイルス感染症関係	インフルエンザ	麻しん	O157等	予防接種	その他	総計	割合
県機関	3	2	1		3	1	1	11	26.8%
県内市町村	1	1	1			1		4	9.8%
国	1			1				2	4.9%
他自治体		2						2	4.9%
福祉関係							1	1	2.4%
一般県民	1	5	1				6	13	31.7%
その他	4	2					2	8	19.5%
総計	10	12	3	1	3	2	10	41	100.0%
割合	24.4%	29.3%	7.3%	2.4%	7.3%	4.9%	24.4%	100.0%	



図IV-2-3 相談者内訳

相談内容分類では「新型コロナウイルス感染症関係」12件(29.3%)、「疾患について」10件(24.4%)の順で相談が多かった(表IV-2-1、図IV-2-4)。

「疾患について」は、県機関からの相談が多く、相談内容の半数以上がデータ提供についての問い合わせであった。「新型コロナウイルス感染症関係」は、一般県民(5件・12.2%)、県機関及び他自治体(各2件・4.9%)からの相談が多く、相談内容は主に発生状況(データ提供依頼を含む)に関する問い合わせであった。



図IV-2-4 相談内容分類

相談方法別では、電話による相談が21件(51.2%)と最も多く、次いでWEBを通じての相談が12件(29.3%)、e-mailによる相談が8件(19.5%)であった(表IV-2-2)。

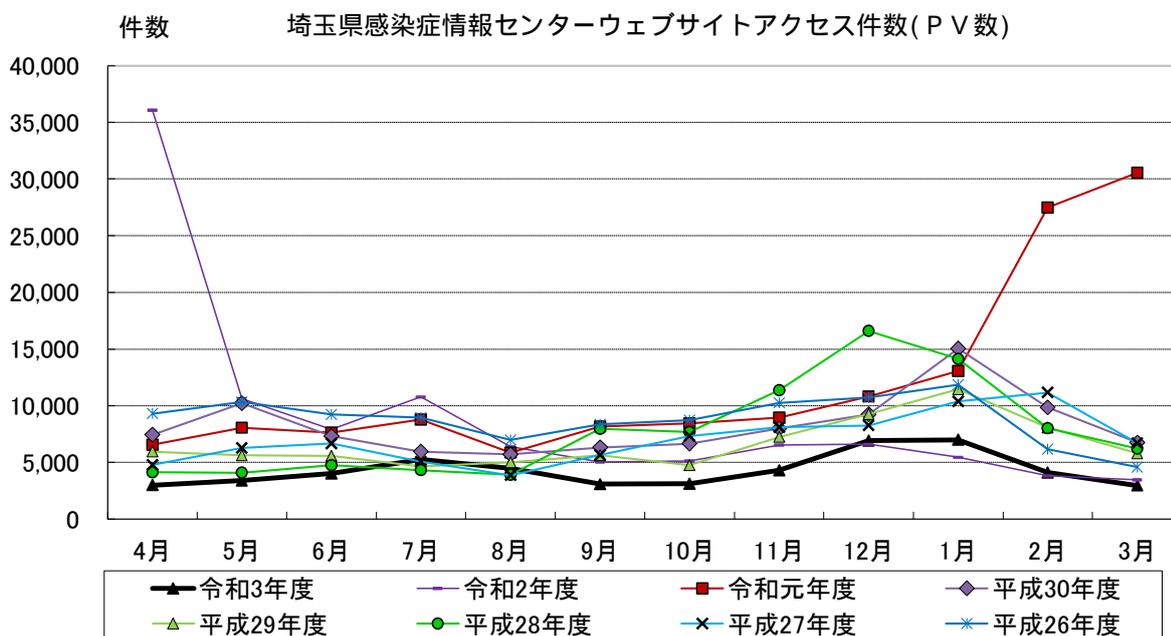
表IV-2-2 相談方法別 相談件数

電話	WEB	e-mail	総計
21	12	8	41
51.2%	29.3%	19.5%	100.0%

3 ホームページによる情報提供

感染症情報センターでは、主として医療機関や市町村等関連機関への迅速かつ正確な感染症に関する情報の提供という視点から、埼玉県感染症情報センターホームページを運営している。

感染症情報センタートップページの月別アクセス件数を図IV-3-1に示した。前年の令和2年4月のアクセス件数36,089件をピークとして、令和2年8月以降、アクセス件数は月あたり3,000～6,000件の範囲で推移し、令和3年度の総アクセス件数は51,665件であった。



図IV-3-1 感染症情報センタートップページアクセス件数

また、感染症情報センターでは、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の流行情報に関してもホームページを通じて情報提供を行っている。令和2年度及び令和3年度の月別アクセス件数を、図IV-3-2に示した。令和2年度の平均月別アクセス件数が8,442件であったことに対し、令和3年度の平均月別アクセス件数は6,042件と減少した。しかしながら、感染者数が増加した第5波のピーク付近（令和3年8月）においては19,747件、第6波のピーク付近（令和4年1月）においては9,178件と、平均を超えるアクセス件数を記録している。このことから依然として、新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴いホームページに対する関心が高くなることが考えられる。

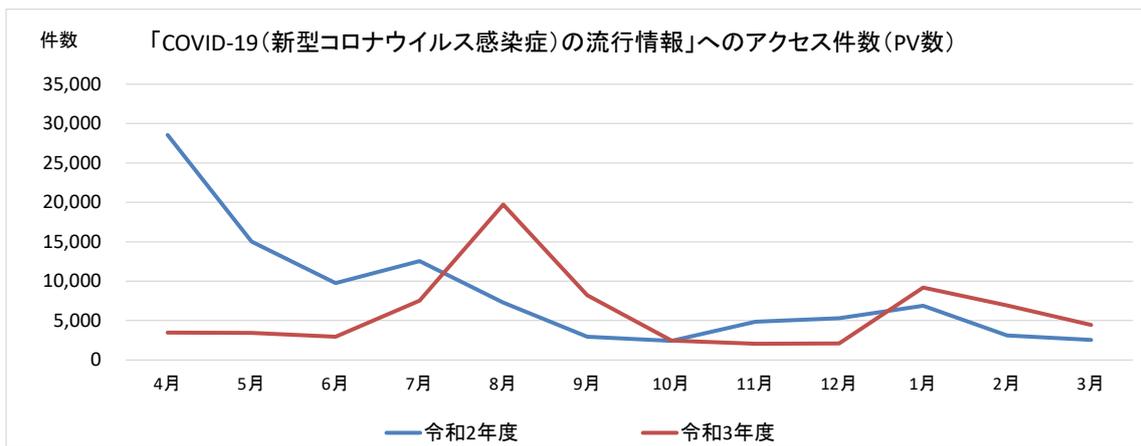
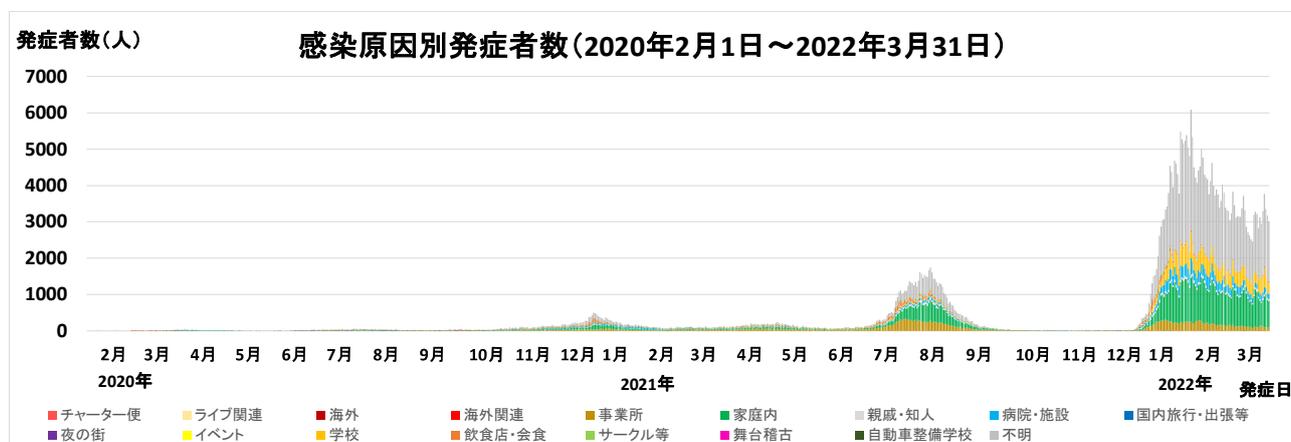
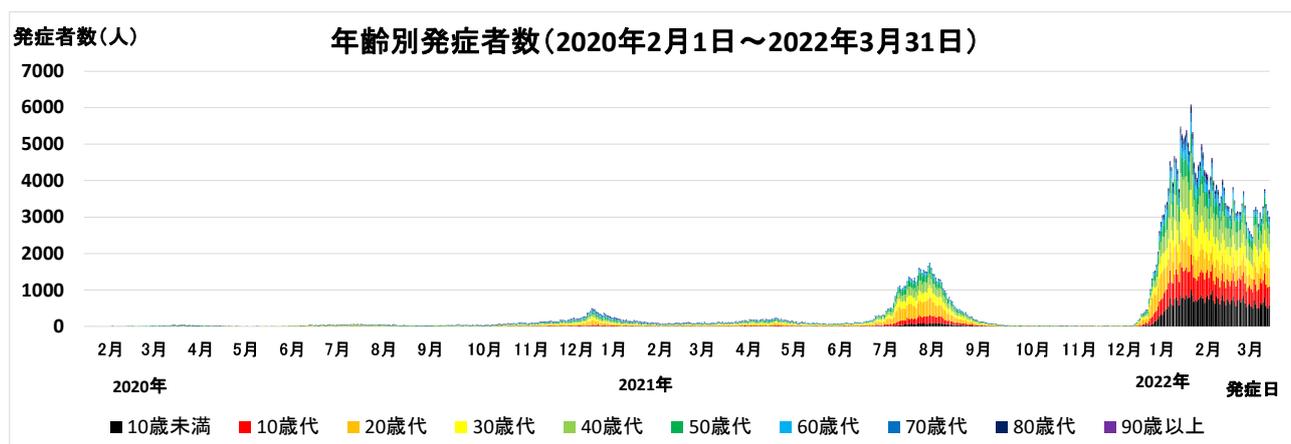


図 IV -3-2 ホームページ「COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の流行情報」へのアクセス件数

「COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の流行状況」のページは令和2年2月26日より開設して以来、新型コロナウイルス患者の解析結果の情報提供を継続して行っている。(図 IV -3-3)。



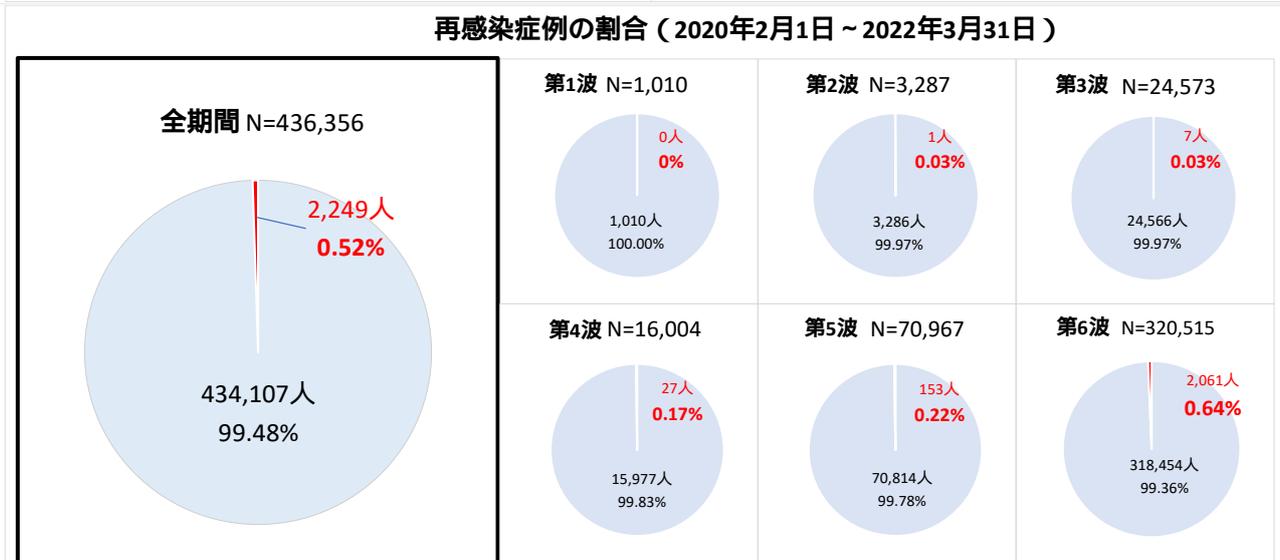
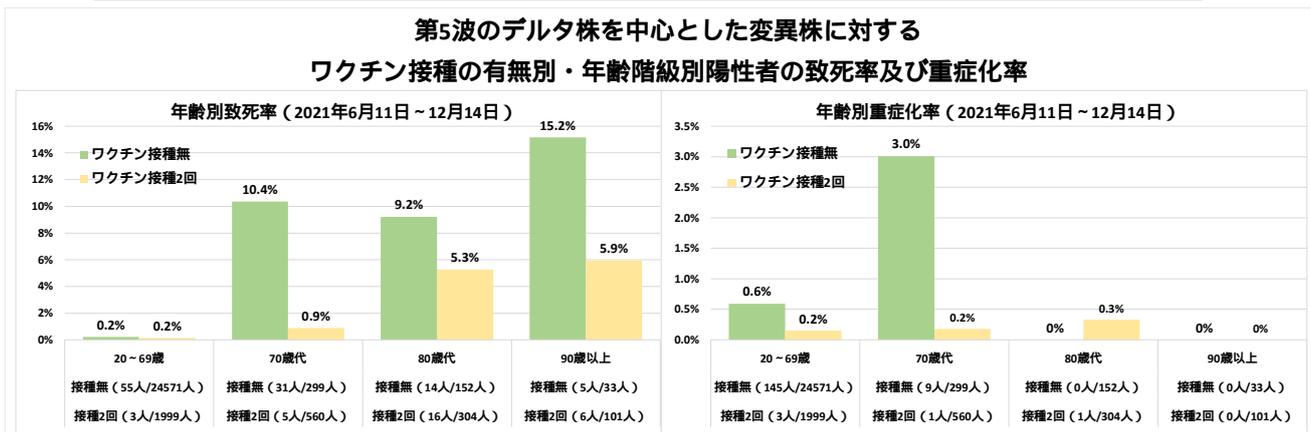
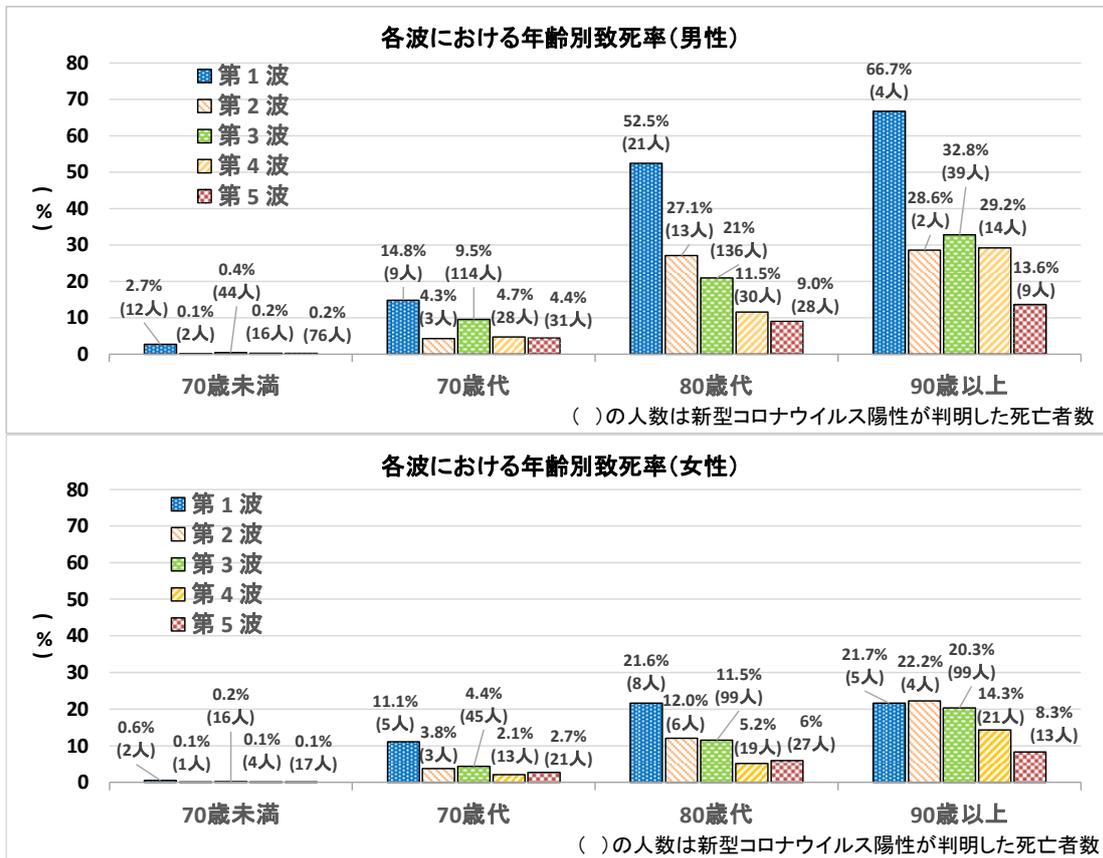


図 IV -3-3 ホームページ「COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の流行状況」への掲載情報